**仮定する**

キャンディチャート

実際にあるものとはった場合を想定することで、見方を広げたり、今あるもののよさや意味、効果などを確かめたりできます。

結果の予測が説得力をもつような根拠を探そう。

キャンディチャートは、「もし、～なら」と仮定したときの結果を可視化するチャートです。

チャートの左側には、仮定を、まん中には、その仮定にづいた結果を予測して書きます。右側には、予測のを書きます。

仮定

根拠

もし、～なら

どうなる

なぜなら

上の図では、「もし、文字が発明されなかったら……。」と仮定したときの結果の予測を、キャンディチャートに書きみました。上の図のように、同じ仮定から出発しても、根拠によって結果の予測は異なる場合があります。

他の人が書き込んだチャートとすると、自分とは違う根拠や結果の予測を知ることができるので、見方を広げる手助けとなります。

キャンディチャートの使い方の例

キャンディチャート

作文を書いたり、意見を発表したりするときも、読み手や聞き手に伝わる表現になっているか、仮定して確かめることができるよ。

もし、文字が発明されなかったら……。

物語を暗記している人から口頭で聞くしかないから。

もし、文字が発明されなかったら……。

計算やプログラムのような科学に必要な情報は、文字によって表されるから。

もし、～なら

どうなる

なぜなら

もし、～なら

どうなる

なぜなら

**仮定する**

キャンディチャート